

一方通行の仲良し旅

もりたんぽ

【注意事項】

このPDFファイルは「ハーメルン」で掲載中の作品を自動的にPDF化したものです。

小説の作者、「ハーメルン」の運営者に無断でPDFファイル及び作品を引用の範囲を超える形で転載・改変・再配布・販売することを禁じます。

【あらすじ】

ここは、学園都市。

人口約230万人で、そのほとんどを学生が占める。

そんな230万人のなかでも7人しかいない存在、レベル5

数えきれない程の能力者が存在するこの街で、その最高クラスの能力者のことである。

今回、そのレベル5の面々に、とある手紙が送られてくる。

とある場所に来い…

その手紙をもらった一人の少年。一方通行

そう、彼は、言わずとも知れた、学園都市最強のレベル5である。

彼もまた、手紙を受け取り、その場所に行くと、そこにはレベル5達が終結していた。

これは、レベル5と、その他原作主要キャラによって、描かれる、おバカで時々真面目なお話である。

目次

1 不安しかない旅立ち



1

1 不安しかない旅立ち

一方通行「Z z z z…」

「??」「…」

ソ…

一方通行「Z z z z…」

バツ!

最終个体「起きてー! ヨミカワが呼んでるってミサカはミサカはあなたの上にダイブしてみたり!」ゴスツ

一方通行「ぐア!? いってエな! このクソガキ! なにしやがる!」

最終个体「あのねっ、ヨミカワがあなたの事を呼んでこいって、ミサカはミサカ極秘任務の内容を述べてみる!」

一方通行「それじゃ極秘じゃねエだろが、それでエ? あのババアは俺になんの用なんだア?」

最終个体「わからない! とりあえず行こ! って、ミサカはミサカはあなたの頼りない

背中を押してみたり！」

一方通行「頼りねエってのは余計だコラ。ったく……だりいな」スタスタガチャ

最終個体「連れてきたよー！つて、ミサカはミサカは任務完了の報告をしてみたり！」一方通行「ナンナンですかア？俺に用つて……こちらねみいんだけど……」

黄泉川「おお、きたじゃん、なんかこれ、ポストに入つてたじゃんよ、お前宛になつてるけど、差出人は書いてないじゃん」ホラ

一方通行「手紙だア？」ドレドレ？

？拝啓、一方通行様、今日午後3時に、セブンスミスト近くの公園に來い。ぼつくれたらおうちにミサイル打ち込んだじやうんだゾ！親愛なる友、アレイスター？

一方通行「……」グシャグシャビリビリポイツ

黄泉川「え……誰からだつたじゃんよ？」

一方通行「あー、あれだア、アニメ視聴者からの応援メッセージだつた、アニメ3期楽しみにしてます、的なあ？」

黄泉川「え、それを読むなりなんなりグシャグシャビリビリポイしたのか!？」

一方通行「るせエ、あれだ、手紙なンぞ貰わなくなつてわかつてますよオ的なあ？」

黄泉川「えー、それはいくらなんでもひどいじゃんよー」

一方通行「うるせエ、つたく、目エ覚めちまったな……コンビニでコーヒー買ってくる」

最終个体「あ！ミサカはスーパーウルトラカップ！のバナラ味が食べたいって、ミサカはミサカはお願いしてみるー！」

一方通行「ハイハイ」

ガチャ……バダン……！

スタスタ……

（さアて、どうすつかなア……先にアレイスターの野郎をぶっ飛ばしに行くか……いや、とりあえずは手紙の場所に行つてみるかア……）ダリイケド

スタスタ……

（えーとオ？ここがセブンスミストだからア、あそこの公園かア……）

「到着つとオ……さてさて、一体どんな野郎がいるつてんだア？」

垣根「お、やつと来たか！」

御坂「」

麦野「」

食蜂「」

上条「」

浜面「」

インデックス「ん？なんなのかな？このうさぎさんは」

一方通行「え、なにこのメンツ…」

垣根「何って、お前んところにも手紙届いてるだろ？」

一方通行「なるほどなア、この全員で戦争して真の最強を決めるってかア？」

浜面「え、それ俺勝ち目無くね？」

垣根「いや、俺も最初はそんな感じかと思っただけど、どうやら違うみたいだぞ？」

一方通行「はア？じゃなんだよ？お前らは知ってンのか？」

御坂「私たちも今さつき来たところなのよ。垣根さん、全員集まったんだし、そろそろ教えてよ」

垣根「そうだな、アレイスターから当面の計画書を預かってる。その内容は…」

垣根「おまいらの色んなs s見てきたけど、少しふざけすぎじゃね？旅に出て、心を洗ってこい…だとき」

一方通行「… 帰るわ」スタスタ

麦野「私も…」トテトテ

垣根「おいおい、見たろ？これに従わなきゃ家にミサイルが飛んでくるんだぞ？」

一方通行「知らねエ、俺はどうせ無事だから関係ねエ」

垣根「お前が溺愛してる嬢ちゃんは無事じゃないけどな？」

一方通行「チツ、旅つたつてよオ、どこ行くんだよ？」

垣根「計画書によると… とりあえずは海みたいだな…」

御坂「あいつと海… / / / カアア

インデックス「海！楽しみなんだよ！ね！とーま！」

上条「まあこんな機会滅多にないし… 金も学園都市持ちだしな… このメンバーに限りなく不安はあるけど…」

御坂「あのガキが邪魔ね…」ブツブツ

食蜂「あれえ？御坂さあくん？顔赤いけどどうしたの？」

御坂「うるせえ、テメエもあのガキと一緒に消すぞコラ」

食蜂「」

垣根「とりあえず、セブンスミスト横にバスが待つてるらしいから、この際行ってみるしかねーだろ？」

一方通行「ハア…：… なんてだりインだ…：…」

浜面「はあ…：… せいぜい何も…：… 起きない訳ないよなあ…：…」

垣根「まあなにはともあれ、運転手さん待ってるから行こうぜ」

ゾロゾロ…：…

垣根「あ、俺、セブンスミストでお菓子買ってくるからお前ら先にバス乗っててくれ」
一方通行「小学生かテメエは…：… 300円までだぞ…：…」

垣根「はーい先生」タツタツタツ

インデックス「あ！私も行くんだよ！お菓子お菓子〜！と〜まも行くんだよ！」グイ
グイ

上条「俺もかよ!?不幸だー！」

一方通行「あいつら、既に楽しんでんじやあってんじやねエか」

麦野「あのバカはほつといてさっさとバスに乗っちゃいましょ、運転手さんに悪いわ…：…」

一方通行「お前そんなキャラだったか？」

麦野「今回はこんな感じで行くわ、いつも通りだったら絶対疲れるもの」

一方通行「そーですかア：：。まア、静かに越したことはねーが：：
スタスタ：：

運ちゃん「学園都市レベル5御一行様でお間違いないでしょうか？」

一方通行「あー、そうですね：：。」

運ちゃん「お待ちしておりました、ささっ、どうぞお乗りになつてください」

一方通行「失礼しますウ」

麦野「座席とかつて適当でいいのよね？」

一方通行「いんじゃね？」

麦野「じゃあここでいいわ：：。」

ガシッ

浜面「えっ？」

麦野「浜面はここね？」

浜面「え、でも：。」

麦野「こ・こ・ね？」ニコッ

浜面「ハイ：。」

垣根「わりい！遅くなった！」

インデックス「たくさん買ったんだよー！」

上条「不幸だ：：野口さんが6人ほど天に召された：：」

かくかくしかじかで座席はこうなりました。

運転席

上条 インデ 通 食蜂 御坂

一方 垣根 路 浜面 麦野

運ちゃん「じゃ、出発しまーす！」

こうして、不安しかないレベル5（一部を除く）の旅が幕を開けた。